

公益財団法人 日本ソフトテニス連盟

平成 30 年度 臨時評議員会 報告

【1】日 時：平成 30 年 12 月 2 日（日） 9 時 30 分 開会

【2】会 場：ワタキューセイモア株式会社 5 階研修室 A

【3】出席者

評議員：43 名（欠席）：5 名

参与：2 名

理事：22 名（欠席）：1 名

監事：3 名

I 開会

定款第 23 条第 1 項および第 2 項により、本日出席された評議員数が定足数に達していることにより評議員会が成立すると報告された。

II 会長挨拶

安道会長より、アジア競技大会や世界ジュニア選手権大会での若い世代の実力に感銘の意が表され、本日の議題についても十分に協議していただきソフトテニスの発展にご協力をお願いする旨の挨拶があった。

III 議長選出

定款 20 条第 2 項により、出席した評議員の中から互選による議長選出。広島県の大前評議員より兵庫県の森田評議員が議長として推薦され、満場一致で議長に選任された。

IV 議事録署名人の氏名

森田議長より、定款 24 条第 2 項により、議事録署名人に横山隆二評議員（東京都）と井上光子理事（千葉県）が指名された。

V 議決事項

第 1 号議案 補欠評議員の選任について

理事就任に伴い、評議員が空席になっている 2 県について、新潟県より国島孝志氏、愛媛県より越智克昌氏が推薦された。

議長より第 1 号議案について諮られ、43 名の賛成により承認された。

第 2 号議案 大会要項の改訂(案)について

※第 16 回世界選手権大会日本代表予選会は前年度の主催大会において技術等級 Expert の資

格をとれる成績を残した選手が対象となる。Expert の申請は別途必要。また、有資格者同士のペアであれば出場を認める。

※全日本社会人選手権大会・天皇賜杯皇后賜杯全日本選手権大会について従来は前年度ペアで申し込む場合同一ペアのみの受付であったが、有資格者同士であればペアを組めるように変更する。開催支部枠は過去 3 年間の会員登録数の多い県の枠が多くなっている。これについては直近の 3 年間を確認し、変更がないことを報告する。社会人選手権については 45 歳の部を加えた。参加資格のペア数を 35 歳・45 歳を統一し同じ出場ペア数にする。

※全日本クラブ選手権大会について外国から参加希望の声があるため、実業団チームでなければ参加を認める。

※選手変更の取扱いについて今後は、選手変更の締め切りを組合せ公開までとする。その後は怪我・疾病については診断書等を提出することで認めこととする。なお、団体戦については変更できる選手数は 2 名までとする。この変更については日本連盟主催大会のみに適用になる。

議長より第 2 号議案について諮られ、43 名の賛成により承認された。

第 3 号議案 平成 30 年度第 1 次補正予算(案)について

第 1 次補正予算案について、主な点は以下のとおり。

【一般会計】

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

(1) 会費収入

2. 会員登録料は 10 月末現在でも前年度と同様の収入の減が見込みにより補正

(3) 事業収入

2. 用具検定費は現在の推移だと 100 万円ほどの減が見込まれる。

3. 機関誌関係費も同様に減となっている。

(4) 協賛金寄付金収入

1. 協賛金収入は 250 万円増とした。

2. 事業活動支出

(1) 事業費支出

4. 広報活動費はマナーブック再印刷を行うことを見送ったこと等、現状を整理。

7. 公認審判検定費は全国審判会議を 31 年度に計画変更したことによる補正。

9. 研修事業関係費は JOC が加盟団体会長を集めた会議を開催したことにより、その内容を理解していただくための研修を行うための経費。

(2) 管理費支出

- 1.人件費は臨時職員の採用を見込んでいたが、現段階では予定がなく 400 万円ほど減額で見込んでいる。

II 投資活動収支の部

2. 投資活動支出

(2)資産取得資金積立金支出

- 1.資産取得資金積立金支出は 5500 万円については 29 年度決算において内閣府へ届けをしたコート取得のための費用が資産取得積立金である。
- 2.修繕費は 500 万円については事務局の修繕に利用するものである。

【助成事業特別会計】

I 事業活動収支

1. 事業活動収入

(1)事業収入

- 1.大会参加料はマスターズ札幌大会の中止により調整。

(3)協賛金寄付金収入

- 1.協賛金は当初予算よりも増える見込みとなり上方修正。

(4)雑収入

- 2.広告料は全日本選手権の看板広告料により調整。

議長より第 3 号議案について諮られ、43 名の賛成により承認された。

第4号議案 平成 31 年度事業計画(案)について

平成 31 年度事業計画について、別冊資料のとおり提案する(P ～P を参照)。

議長より第 4 号議案について諮られ、43 名の賛成により承認された。

第5号議案 平成 31 年度収支予算(案)について

平成 31 年度収支予算について別冊資料のとおり提案する。主な点は下記のとおり。

【一般会計】

I 事業活動収支の部

2. 事業活動支出

(1)事業費支出

- 9.研修会等開催事業は上部団体からガバナンス・コンプライアンスについての指示があり加盟団体担当者に説明費用として予算をつけた。

II 投資活動収支の部

投資活動としては当初予算では計上せず 30 年度の決算を待ち検討する。

【助成事業特別会計】

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

(2) 補助金等収入

1. 補助金収入は内示が4月以降となるので補正で報告する。

(4) 雑収入

2. 広告料は来年について未定のため当初予算では100万円の見込み。

2. 事業活動支出

(1) 事業費支出

3. 大会開催等関係費は国際大会が予定されている。決定事項ではないため補正で検討する。

4. 指導者育成事業費は今年については上級指導員・コーチの養成研修会を開催するが、来年度は実施しないので、その分が減額する。

国際会計、傷害補償制度特別会計、募金会計については30年度の補正後の額と同額となっている。

議長より第5号議案について諮られ、43名の賛成により承認された。

第6号議案 平成31年度評議員会日程(案)について

平成31年度の定時および臨時評議員会について提案された。

- ・定時評議員会 2019年6月9日(日)「アワーズイン阪急」(東京都品川区)
- ・臨時評議員会 2019年12月8日(日)(会場未定)

議長より第6号議案について諮られ、43名の賛成により承認された。

VI 報告事項

(1) 業務執行状況の報告について

・国際委員会

第3回世界ジュニア選手権大会が終了した。来年度は世界選手権大会が中国台湾で開催される予定である。アジアジュニア選手権大会を8月末～9月1週目にフィリピンで開催を計画している。同じくフィリピンで大学生の大会としてアジア連盟主催で開催したいという申し出があった。

・強化委員会

来年の世界選手権にむけて選手の強化を図る。

・競技委員会

今年の大会については先般の実業団リーグ、クラブ選手権まではほぼ順調に消化することができたが、マスターズについては地震の影響により全ての競技が中止。7月は台風の接近につき全日本小学生選手権大会の団体戦はベスト8までで中止となった。11月10日に競技委

員会を開催し、全日本社会人選手権に40歳種別の新設について検討した。今後の実態調査にご協力いただきたい。また、棄権が多い大会があるが、連絡が無い方が多数いるので対策をどうするか課題である。なお、大会要項を配布しているが参加資格と参加数の項目で重複している表記があるのでまとめられる部分はまとめるよう作成中である。

・競技者推進育成プログラム

13年を経過し、プログラム全体を見直し、よりよい効率的な強化策という観点で見直しをしていく。プログラム全体の運営に約1億円の費用がかかっているので費用面も検討していく。具体策の検討に入ったところである。

中学・高校・大学の対策プロジェクトも開催し、会員登録数の減少を緩やかにするための方策を検討している。過去10年のデータを元に検討しているので、またまとめ次第みなさんに報告する。

・広報委員会

各大会の速報について全日本シングルスからStep-4まで各主管地にご協力いただきスムーズに速報をすることができた。また、本日配布したDVDにはNHKで放送されたものがそのまま録画されているわけではなく、アナウンスと解説は抜いたものである。映像は各支部で自由に使っていただければと思う。

・機関誌編集部

購読者の増加策として大会プログラムにも広告を掲載している。今後も部数を増やす企画として支部・団体の優良者の紹介を検討している。

・環境教育プロジェクト

マナーチェックシートは今年度で提出を終わりとする。集約後グラフ化したものをフィードバックさせていただく。今後のマナーチェックシートの活用は日本連盟には提出せずに各支部内で役立てていただきたい。

JOCの環境部会に参加し、環境問題への取り組みについて研修した。競技団体として対応していきたい。製造メーカーの協力を得ながら、ボールの再利用について研究していく予定である。

・総務委員会

新設された企画部会を開催した。中期計画の作成をすすめている。各支部からのご意見をお伺いする場面も設ける予定なので、その節はご協力をお願いしたい。

・生涯スポーツ委員会

社会人に移行した45歳種別について、ミックスの実施を検討してもらっている。

・審判委員会

10月13日に審判委員会を開催し、今年度の1級公認審判員検定会・研修会の日程及び派遣委員を決めた。すでに11月24日に関東ブロックを埼玉で実施している。研修会については昨年までのやり方と少し変更し、DVDは使わずに問題事案を討議する方法にしている。みなさんに活発に意見を求めながら正解に導き、レフェリーとしての力を養っていただくようにした。

(2) 平成 30 年 7 月西日本豪雨災害義援金について

総額 245 万円(のべ 40 件)を各支部からご協力いただいた。日本スポーツ協会へ 11 月 29 日付で送金した。お礼状を後日送らせていただく。

(3) ランキング選手表彰基準の改訂について

成年の表記を 35 歳、45 歳の表記とする。

(4) 平成 30 年度表彰者(案)について

平成 30 年度表彰者は該当大会が終了していない実業団の最優秀監督および優秀監督を除き別冊資料のとおり。

(5) 日本スポーツ賞について

第 18 回アジア競技大会日本代表女子チームを推薦した。

(6) 加盟団体会長会議について

2019 年 2 月 2 日(土)大阪において開催する。

(7) 叙勲・褒賞について

兵庫県連盟副会長金冶義昭氏が旭日単光章を受章した。

(8) 平成 30 年度全日本インドア出場予定選手について

全日本インドアは大会要項で参加資格が決まっている。日本連盟推薦を含めた参加者は資料の通りとなる。

(9) 平成 31 年度国体種別参加チーム数について

来年度は茨城で開催される。21 チーム出場の種別があるが、来年は成年女子が対象種別となり、各地区の参加チーム数は資料の通りとなる。

(10) 新規全日本大会について

定時評議員会において報告させていただいた後、再検討した結果、全日本団体王座選手権大会は実施しないこととした。開催時期の選定、特に継続開催を条件とした場合に会場確保を含め困難であることが理由のひとつである。現時点では事業計画を含めて中止とするが、以降こういった大会が必要という声が出た際は改めて検討させていただく。

全日本ミックス大会については、現時点で 2020 年から開催を検討している。優勝者は国際大会の代表にしたいので、5 月～6 月の開催で考えている。

(11) 全日本クラブ選手権大会の開催時期について

全日本団体王座選手権大会を実施しないことにしたため、従来通りの 10 月～11 月の開催とする。引き続きご協力いただきたい。

(12) 個人戦の組み合わせの事前公開について

来年からは日本連盟主催の全ての大会において 10 日前に事前公開をする。13 日開催であれば 3 日の公開とする。なお、国体については従来通りとする。

(13) 技術等級制度規程の改訂について

シニア Expert について、45 歳が社会人に変更になったことに伴い、シニア Expert・シニア Specialist は 50 歳以上とさせていただく。大会実績に伴う認定基準の 35 歳は以前の成年を

そのまま適用する。45歳は以前のシニアをそのまま使わせていただく。

(14)第3回世界ジュニア選手権大会について

11月18日～25日まで韓国で開催された第3回世界ジュニア選手権大会に参加した。前回・前々回と比較すると参加数が増加し、レベルもあがっており大変盛況な大会となった。全14種目中10種目で優勝することができた。若い世代は日本が優位だが、年齢があがるにつれて実力差がなくなってくる状況だった。団体戦は優勝することはできたが、接戦で見応えのある試合であった。高校卒業後、大学や実業団での強化が課題と感じた。

(15)平成31年強化チームについて

資料の通り選考させていただいた。この後承諾書の提出を依頼し辞退者が出た場合は次点の選手を繰り上げていくため、確定したものについてはホームページ等でお知らせする。

(16)ソフトテニストレーナー研修会の開催について

トレーナーが確保できずに困っている支部も多々あると聞いている。トレーナーの確保やスキルアップを図ってトレーナー部会を開催するが、各地で活動されているトレーナーの方々を対象に日本連盟の合宿でのトレーナー活動を公開していく。ホームページ上でも情報を公開するが、申込は所属の都道府県連盟経由でお願いしたい。トレーナーを把握することができるという目的もあるため、お手数をおかけするがお願いしたい。

(17)運動部活動用指導手引について

日本スポーツ協会より指導手引きの作成を求められている。3月末までに作成する予定である。内容は指導教本をベースとしている。いろいろなトラブル事案への対応についてもとり入れていく予定である。

(18)上級指導員養成講習会について

12月8日・9日に愛知県邦和セミナープラザで開催予定である。

(19)公認コーチ養成講習会について

前期と後期で実施する。前期については12月7日～9日邦和セミナープラザ、参加人数は13名で実施する。後期は2月9日～11日、埼玉県総合スポーツセンターを予定している。

(20)小・中・高指導者研修会について

2月16日・17日邦和セミナープラザで実施を予定している。実技を伴った指導を検討しており、小学生向けと高校生向けのふたつにわけて実施を予定している。また、テーマ別の討論会を実施するので、その中で課題については次年度にむけて検討していく予定である。

(21)平成30年度全国広報担当者会議について

平成31年3月16日12時開催(会場未定)。参加者については実務に係る内容になるため、各加盟団体の広報担当者、特にホームページなどを担当している実務者に参加していただきたいと考えている。

(22)ボールのブランド名およびマークの変更について

2019年4月1日からボールのロゴマークが新しいダンロップのロゴマークに変更となる。

(23)ラケットのブランド名の変更について

ラケットについては2019年7月からダンロップのロゴマークが変更となる。

(24) マナーBOOK 抜粋版について

1 ページにまとまる抜粋版を作成したので、ご意見があれば連絡いただきたい。2月に最終的な部会を開催し、4月から使用できるようにしていきたい。

(25) その他

大会日程に記載された日程は選手・監督に必ず出席していただきたい日程であるが、必ずしも試合日程ではない。監督会議や開会式が別日にある場合はその日を含んで記載されるのでご注意願いたい。

VII 閉会

笠井副会長より、皆様の協力によりスムーズに開催することができたことについてお礼が述べられた。また、来年度の計画予算が承認されたが、今年度の残された事業も成功裡に実施できるよう協力をお願いしたい旨の挨拶があった。

12時20分に臨時評議員会は終了した。